

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマートキッズジュニア梅田北			
○保護者評価実施期間	2025年7月1日 ～ 2025年7月25日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数)	0
○従業者評価実施期間	2025年7月1日 ～ 2025年7月25日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年7月30日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・放課後等デイサービスと規模別一体型での受け入れ準備を行っている為、就学後の継続した支援の提供が出来る。	・同じ事業所の中で、児発の受け入れから中高生の受け入れまで行える療育施設がある為、継続した支援の実施が可能である。	・近隣学校や通所している利用者の学校等と連携をより強固に行っていく。 ・年長児の受け入れの際には、短時間は放デイとの交流を図るなどで就学後のイメージが持ちやすい様に療育プログラムも検討していく。
2	・放課後等デイサービスで培った支援力で療育が実施出来る。	・微細運動やソーシャルスキルトレーニング、言語学習、概念理解などの個別課題の準備。	・現在、放課後等デイサービスで実施している療育グッズ以外にも、未就学児でも行える個別課題としての療育グッズの確保を行う。
3	・法人内や事業所内での研修が多い為、常日頃から職員の質向上のための意見交換が出来ている。	・業務前MTGや事業所内研修などで全職員が意見を出し合えるよう、風通しの良い関係づくりを意識している。 ・支援終了後、支援について共有したり話し合いを行う等している。	・全職員が、児童発達支援の療育が実施できるように法人内の研修を受講する。 ・全職員で療育プログラムを考える時間を業務前MTGなど実施する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・個別療育を実施するには工夫が必要。	・部屋でなく区切りとしてパーテーションが区切りとしてあるだけの為、構造上課題がある。	・パーテーションや、テーブルの配置などを工夫し、未就学児の受け入れ希望があった際にすぐに取り入れられるように職員間で検討する。
2	・受け入れの時間帯などによって、放課後等デイサービスのご利用児童と分けて療育を実施し安全管理の徹底をする必要がある。	・児発と放デイのサービス提供時間が午後の時間となり、児発の希望によっては放デイの児童と受け入れが同じになってしまう可能性がある。 ・放デイの療育の対象を小学生高学年から高校生までを対象としている為、身体の大きさの差があり同じ空間で過ごす場合は安全管理が課題となる。	・放課後等デイサービスの時間帯と被ってしまった際の安全確保のための環境整備を事前に準備しておく。 ・移動型のパーテーションなどの配置を工夫し、放デイの児童と区別できるような工夫が必要。

3	・未就学児でも取り組める様に療育グッズのバリエーションを更に増やす。	・児発受け入れを経験している職員が少ない為、療育グッズの準備が難しい可能性がある。	・法人内での研修を受けて、フォーマットにある療育プログラムに沿った課題の準備を行う。 ・児発受け入れしている法人内の事業所からの意見やグッズを参考にし、プリント課題やグッズの準備を行う。
---	--	---	---

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名 スマートキッズジュニア梅田北

公表日 2025年7月30日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	4	利用者の支援を行う独立したスペースがないので、パーテーションを活用している。	部屋数が多いわけではないため、受け入れの時間帯を工夫するなどが必要。物置と事務所を整理して、物置に机を置くスペースを作ることを検討している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	男女トイレがあったり、室内に段差がない為構造上過ごしやすい。入口に階段等もないため現段階で環境上の配慮が適切であると考え。子どもたちが不安定になってしまった際にパーテーションを利用し、部屋を分けた空間を作るなどの工夫を行っている。	生活空間は見えてわかる様に工夫を行っているが、感覚が過敏な生徒に対しての環境整備の工夫が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日の掃除や支援室内におもちゃを出していないため、心地よく過ごせる空間になっている。閉室作業での掃除を徹底し、消毒などもこまめに行っている。清掃は丁寧にするように心掛けている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	4	部屋はないが、パーテーションで区切るようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	業務前MTGなどで児童ごとの支援の話をしている為、児発受け入れ時も同様に対応していく。	業務改善をする時間を作れていないため、時間を確保し見直す場を設ける。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	3	過去受け入れがない為、出来ていない。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	業務前ミーティングで子どもたちのことについて話し合う時間を設けることができています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5		児発の受け入れをしていないため、実施できていない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	児発受け入れの為の動画研修なども準備されている	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	3		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	2	1人の意見ではなく他のスタッフの意見も取り入れて作成しているため、引き続き同じ方法で作成していく。子どもの課題などで出来なかったことを送迎時に保護者の方に共有し、逆に家での様子などを共有していただき、解決策などを話し合うことが目標であり、工夫している点。	まだ受け入れがない為、該当なし
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	3	放デイでは日頃の様子など細かな気づきを共有しているため、児発受け入れの際にも行っていく。支援計画を作成する前に、最近のその児童の様子などを話し合うことがある。	まだ受け入れがない為、該当なし

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	3	分かりやすい場所に置き、いつでも確認できるように行っている。 その日できたこと、できなかったことを職員間で共有している。	放デイとしては行っているが、児発の受け入れがまだない為、該当なし
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	4		放デイとしては行っているが、児発の受け入れがまだない為、該当なし インフォーマルはできているが、フォーマルはできていないため、標準化されたツールをスタッフ間で共有したいと考えている。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	3	児発の受け入れがまだないが、フォーマットとしては適切な項目が出来ていると思う。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	3	活動の狙いを割り振った上で活動の立案を行っている。 メンバーが得意なことを生かして活動プログラムを作成している。また、子どもたちには不得意な事でも頑張れる人になって欲しいので、大人が不得意なことをがんばる手本を見せられるよう工夫している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	4	同じ活動は半年に一回、と決めている。	固定化しているように感じるため、業務前ミーティングで話す時間を作ることが必要。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	2	4		放デイとしては行っているが、児発の受け入れがまだない為、適切かどうかの判断が難しい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2	業務前ミーティングなどで話し合っている。	放デイとしては行っているが、児発の受け入れがまだない為
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	5	閉室作業を行いながら、その日の様子などを共有している	業務後に時間を作れていないため、少しでも時間を作るよう改善する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	2	支援をやっても記録がないと証拠にならないため、記録をその日にとるよう工夫している。 その日のうちに全ての記録が取れるように行っている。	記録のフォーマットは準備できているが、児発の受け入れがまだない。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	4		児発の受け入れがまだない。 半年ごとの更新以外に見直しをする機会を設けていないため。
関係機関や関係者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	2	責任者が参画してくれている。 他事業所の取り組みなどを聞かせてもらい、自教室での支援の参考にさせてもらっている事がある。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	協力医療機関は提携できている	課外活動等で何かあったときのために医療機関を記入するものの、あまりその場所等を知らないため、調べる時間を設ける必要がある。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	5		放デイとしては行っているが、児発の受け入れがまだない。 移行してくることはあるが、移行することがあまりないため、どこと連携を図ればよいのか理解できていない。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	5	放デイでは保護者の希望で、中学校入学に備えて中学校の先生と情報共有をすることがある。	児発の受け入れが過去になく、経験がない。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				

保護者との連携	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				児発の受け入れがまだない、責任者とも連携しつなかりを深めるよう努める必要がある。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	6		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		児発の受け入れがまだない為、未経験職員が多い。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	2	児発の受け入れがまだないため該当がないが、放デイでは送迎時に保護者と会える際には、お伝えしている為、児発も同様に対応していく。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	6		児発の受け入れがまだない為、未回答。事例がないため受け入れした際には実施していきたいと考えている。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	3		児発の受け入れがまだない為、いいえではあるが丁寧な説明が行えるよう準備している。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	3		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	2	4		児発の受け入れがない為出来ていないが、受け入れした際にがしっかり保護者の同意を得てから支援が出来るよう努める。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	3	放デイでは送迎時や面談でお話を伺う中で保護者の悩みなどをお聞きした時には、別途お話を伺う時間を設けるようにしている。また心理士も配置されているので保護者の求めに応じて対応することもできる。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5		児発の受け入れがないが、受け入れした際には放デイと合同で実施を行う予定。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	3		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	5		受け入れ開始した際には実施できるよう業務分担して置く必要がある。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報使用同意書や、お預かりした個人情報进行し鍵付き書庫の準備は出来ている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	1	重要事項説明書などは準備できている。ただ過去にそれらを用いての説明などは未実施。絵カードを用いるなど、工夫している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	マニュアル等は作成されており、事業所内にて保管している。	

非常時等の対応	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	月に1回、訓練や研修を教室内で行い共有している。 放デイでは毎月テーマを変えて避難訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	2	4		服薬、てんかん発作等の有無は確認しているが、予防接種などは確認できていないため、確認していく。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	4		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	研修等も定期的に行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	4		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	4		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	虐待防止の教室内委員会や研修を定期的 に実施出来ている 別教室のスタッフの意見も取り入れて行 っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1		